

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 5 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|-------------------------------|
| 小委員会名 | テンション構造小委員会 | 主 査 名：岡田 章 就任年月：2016 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会) | 委員長名：塩原 等 主 査 名：竹内 徹 |
| 設 置 期 間 | 2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>ハイブリッド構造やテンセグリック構造を含むテンション構造の実情の分析・評価に基づき、『ケーブル構造設計指針・同解説』の改定を行う。また、テンション構造の接合部の具体的な設計方法などに関する設計・施工資料を提示することも目的とする。</p> <p>初年度：改定指針の執筆作業を行う。 2 年度：改定指針の発刊を行い、講習会などを実施する。 3 年度：接合部の設計方法等に関する設計・施工資料について、調査整理を行う。 4 年度：接合部の設計資料の作成を行い、講習会等で公開を行う。</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 (2016 年度実施) | |
| | 主査：岡田章(日本大学) 幹事：宮里直也(日本大学) 委員：形山忠輝(日本鑄造)，齊藤嘉仁(太陽工業)，杉内章浩(竹中工務店)，田畑博章(大林組)，陳沛山(九州工業大)，中島肇(日本大学)，鈴木実(神鋼鋼線工業)，原田公明(日建設計)，渡邊康弘(川口金属工業)，中川路勇(大成建設)，矢島卓(東京製綱)，山岸俊之(清水建設) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | ケーブル指針改定編集 WG： 『ケーブル構造設計指針・同解説』の改定素案の作成協力 | |
| 2017 年度予算 | 60,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 5 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パ ブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係) | 1. 『ケーブル構造設計指針・同解説』改定に向けて、改定内容を整理して、各章の執筆活動を行い、改定指針案を作成した。 2. 運営委員会内の査読を行い、その修正作業等を進めた。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. 委員会の出席率は高く、指針改定のための活動は非常に活性化している。 |